

学校長殿

入試広報課
矢田 守

令和4年度 入試広報課 重点目標（総合評価）

入試広報課の重点目標：『つながりを深める媒体となる』

木更津総合高校の情報を得たいと考えている外部の方々には、我が校の特色ある教育内容（幅広い進路に対応するコース制や手厚い進路指導など）、充実した学園生活（特色のある行事や活発な部活動など）等、我が校の長所や魅力を十分アピールしていきたい。

在校生に対しては、自分が在籍する学校への愛着を感じ、木更津総合高校の生徒として誇りを持ち、愛校心を育む内容となるよう掲載記事の編集に努める。また規模の大きな学校であるがゆえに、自分とかけわりの浅い活動や他ハウスの事情に疎くなりがちである。その情報のギャップを埋める一助となるよう幅の広い情報の収集に努める。

保護者に対しても、学校への理解を深めていただけるよう、校内の出来事や学校行事等の情報を発信していきたい。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
2	主に、ホームページ「新着情報」欄にて、部活動の活躍と戦績発表、学校行事、進路指導といった、学校内外における本校の活発な活動の、かなりの部分を発信し、本校の魅力をアピールすることが出来た。	以前は△表示で、既読者の多寡を把握する目安としていたが、非表示にしてから全く不明となった。アクセス数の確認方法があるか、記事更新時に在校生へ告知は必要か、検討したい

入試広報課の方針

① 正確な情報収集と迅速な発信

掲載記事を生き生きとした内容にするためには、常に最新の情報を集め迅速な更新が求められる。拙速なものにならないよう情報を精査し、齟齬や誤謬ない編集を心がける。また、個人情報の管理にも十分配慮する。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	取材対象者には、その都度写真や氏名の掲載の許可を得ている。さらに、記事中に不備・不都合な箇所があれば、削除や訂正に応じる旨を伝えている。発信については9割相当を当日中に掲載している。	文章の校正は、その都度几帳面に行った。外部からの削除や訂正等の依頼は皆無であった。

② 入試広報課内の連携と役割分担の徹底

業務内容を確認し各担当者の役割分担を決め、協力し合える体制を作る。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
1	課長が単独で動く場面が多くなってしまった。課長とそれ以外の教員間では連携があるが、課員同士の連携は希薄であった。校正作業では、全員での協力が必要であった。	他業務との兼ね合いなど、仕事量のバランスを考慮した結果であった。組織としての機能を改善したい。

③ 各ハウス、各部署、生徒会及び部活動顧問との密な連絡

HP上の様々な情報と戦績揭示は、多方面の教職員各位から協力を得られなければ、成り立たないものばかりである。連絡を密に取り、協力を要請する。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
2	部活関係の記事では、顧問による確認が迅速に行われていた。試合やコース実習の様子、文化部による発表等、校外で行われる催しを記事として提供してもらうことが多くあった。	一方で、入賞や催事開催の情報を得られないこともあった。負担を強いることになるので、依頼が難しい。